

よいや～の風について



——令和7年8月9日(木) No.11——校長 東原 宏章——

語り部(かたりべ)は本当に減っているの？

長崎のまちで語り部といえば、学校や原爆資料館などの場所で原爆の恐ろしさ、戦争の惨さ、平和の大切さを語ってくれる人のことだと言ってよいでしょう。6月に高城台小学校で原爆のお話をしてくださった〇〇さんも語り部の一人です。ただし、〇〇さんご自身は原爆の被害にあった方ではありませんでした。原子爆弾が長崎に落とされた日には、まだ、生まれていなかったからです。

原爆が長崎に落とされてから、80年が経ち、原爆を実際に体験した語り部の皆さんの多くが、90歳を超えています。語り部の皆さんは90歳を超えても、原爆のことを子供達に伝えたいと頑張っているんですが、その数は年々減ってきています。原爆を実際に体験した語り部が減ってきているので、〇〇さんのように原爆を体験していない方が、自分の家族や知り合いの体験を伝えようと、新しい語り部として活動を始めているのです。ただし、〇〇さんのような方を数にいれても、語り部全体の数は年々減っていると言われています。

それは確かなことなのでしょうが、校長先生は心のどこかで、語り部は減っていないよ、という思いを持っています。なぜ、そう思うのか、その答えを皆さんにお話する前に、皆さんにクイズを4つ出します。

- 1 長崎に原爆が落とされた日は何月何日ですか。
- 2 長崎に原爆が落とされた時刻は何時何分ですか。
- 3 原子爆弾は、地面に落ちて爆発しましたか？それとも 長崎の上空で爆発しましたか。
- 4 原子爆弾が爆発した後、長崎市の町は、どうなりましたか？

どうですか？1、2年の人でも1つは答えられたのではないのでしょうか。3、4年、5、6年の皆さんならば、2つ、3つは答えられたと思います。だとしたら、あなたは立派な語り部だと、私は思うのです。

長崎県の子どもの10人に8人は原爆が落とされた日を8月9日と答えられるそうです。ところが、日本全国の子どもとなると、10人に3人しか8月9日と答えられないそうです。ほら、あなただったら、他の県の人たちに8月9日だよと、教えられる、語ることができるでしょう。11時2分と答えられる他の県の子どもの数となると、もっと減ることになると想像できます。もし、あなたが、今、他の県の子供達に「8月9日の11時2分だよ。」と教えたいな、伝えたいなと思っているのならば、やはり、あなたは立派な語り部です。

少し、未来の話になりますが、あなたが中学生や高校生になって、他の県や他の国の中学生や高校生に長崎の原爆のことを伝えるようなことがあれば、あなたは、まぎれもなく語り部です。

あなたが大人になったとき、そばにいる子供達に長崎の原爆のことを話してくれるのであれば、あなたは正真正銘の語り部です。

90歳を超えて体が動かなくなって、語り部ができなくなった方々は悔しい思いをしていることでしょう。しかし、もし、高城台小に407人の未来の語り部がいることを知ったら、きっと喜んでくれることでしょう。私が、語り部は減っていないよと考える理由は、画面越しに私の話を真剣に聞いているあなたがいるからです。